

平成24年2月

各位

日本アルコール販売株式会社

経営ビジョン2カ年計画策定に関するお知らせ

当社は、平成23年2月25日に公表した「中期経営ビジョン」（平成23年度～平成25年度）について、東日本大震災において被災した当社仙台支店及び子会社日本アルコール産業株式会社鹿島工場の早期復旧とお客様への安全で安心な商品の安定供給を最優先するため、その実施を一時凍結しておりましたが、今般、「中期経営ビジョン」に平成23年度実績見込み及び被災設備の本格復旧計画を織り込み、平成24年度から平成25年度までの「2カ年計画」を新たに策定いたしましたので下記のとおりお知らせ致します。

アルコール産業を取り巻く事業環境は、原料アルコールの高騰等、引き続き厳しい状況が続くものと考えられますが、当計画に基づき、グループ各社のベクトルを揃え、強靱な事業運営に取り組んでまいります。

記

I. 基本方針

アルコール部門においては、ご利用頂いておりますお客さまに対し安全で安心な商品の安定供給に努めることを最重点目標と位置付け取り組んでまいります。

また、工業薬品部門、食品添加剤部門におきまして、将来のグループ収益の柱と捉え、集中的に経営資源を投入し、積極的な事業展開に取り組んでまいります。

II. 主要施策

1. 東日本大震災による被災設備の復旧等

東日本大震災において被災した当社仙台支店及び日本アルコール産業株式会社鹿島工場の早期完全復旧を図り、更なる安定供給に努めてまいります。

2. アルコールの安定供給基盤の強化

以下の方策により原価低減を推進するとともに安全で安心な商品の安定供給に努めてまいります。

(1) 品質の向上について

- 発酵アルコールについて、更なる品質向上の追求と製造コストの低減化を図ります。
- おいたち管理、Q i b i x 専用ロジスティックスなどグループ品質管理の徹底に努めます。

(2) 原料調達の安定化について

- 原料アルコールについて、大ロットでの受入を計画的に行い、調達コストの削減に努めます。

(3) 安定供給について

- 各工場における原単位の向上を図りつつ、サプライチェーンの最適化により、トータルコストの削減に取り組んでまいります。
- 継続的に取引を頂いておりますお客さまに対し、原料情報、品質管理の現状等を定期的に報告させて頂くほか、定例の工場見学会等を実施いたします。
- 発酵アルコールについて、原料アルコール価格の高止まりが懸念される状況下、継続的に取引を頂いておりますお客さまに対し、出来る限りの低廉・安定供給に努めます。
- 合成アルコールについて、メーカー各社さまとの信頼関係をより強固なものとし、合成アルコール市場の健全な維持に努めます。

3. 工業薬品、食品添加剤部門における収益の強化

新規の設備投資を円滑に実現し、速やかに適正な稼働率の実現を目指します。

(1) カセイヒン

- 継続取引先との取引商品の拡大を図ってまいります。

(2) 医薬部外品

- BCPの一環としての備蓄用品又は大手スーパーでの定番商品としての販売を基本とした営業に努めます。

(3) 食品添加剤

- 自社製品とOEMとの均衡に留意しつつ、積極的な販促に努めます。

(4) 発酵製品

- 国内全般及び海外展開を見据えた営業を展開してまいります。

(5) 土壌改良資材

- 臭化メチルに代わる環境負荷の低い新しい土壌改良資材の拡販に努めます。

4. 技術力の強化

グループ各社に技術担当役員を置き、組織的・計画的にグループ技術力の強化を図ってまいります。

5. 人材の力の向上

日本アルコール産業グループのトップマネジメントを担う人材の育成を主眼とし、グループ横断の各種研修体制の充実やグループ企業間の人事交流等の施策を積極的に展開してまいります。

III. 経営目標

平成25年度営業利益目標（連結ベース） 17億円以上

以上